

長畑ひろのり



News vol. 181

しでうなはて今昔⑧

・懐かしい「JR忍ヶ丘駅」

市制施行の周年毎に発行される市勢要覧を見ると、懐かしい忍ヶ丘駅の写真がありました。新旧を比べた下の写真（画像①）は45周年のもので、それをきっかけに駅舎を調べてみました。



画像①



JR 忍ヶ丘駅

忍ヶ丘駅は、住民運動により（岡山地区と中野地区で設置場所を争うが岡山地区で決定）四條畷市唯一の駅として1953（昭和28）年5月1日に開業。以降、単線で発着本数も少なかったのが、1979（昭和54）年には複線高架化と同時に自動改札機も導入され、今では区間快速も停車する様になりました。

下の写真（画像②）は複線高架化工事中のもので、四條畷市立民俗資料館において開催された第37回特別展で配布していた小冊子に載っていたものです。撮影は1978（昭和53）年とのことで、私が高校への通学で駅を利用していた1976～79年は、正に複線高架化工事の最中でした。

画像①と②の旧駅舎を比べてもそれ程違いはありません。しかし、駅名を見ると、画像①では切符売り場の上に「しのぶがおかえき」と表示されていたのが、画像②では雨除けが付けられ見にくくなったのか改札口の上に「忍ヶ丘駅」と表示されています。

また、画像②では駅舎の外で乗客が並んでいます。当時の忍ヶ丘駅は、朝夕以外40分間隔でしか電車も来ないため、電車が到着する数分前にならないとホームへ入ることが出来なかったためと思われます。



画像②

駅舎は線路の東側のみで、駅前も小さな広場があるだけでした。また、駅舎右側部分は待合室です。

1968年（昭和43）年7月、私は小2の夏休みに大阪市港区から忍ヶ丘駅近く（現在の岡山東2丁目）に引っ越してきました。電車を降りた時、ホームの壁が枕木を並べただけなのに驚きました。

下画像の駅名標、長尾方面の隣駅は「ほしだ」となっています。寝屋川公園（旧、東寝屋川）駅は、1979



（昭和54）年の開業で、当時は存在していませんでした。

画像は、四條畷小学校 創立百周年記念誌より

文章は、弱視の方にも読みやすい可読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。

公式サイト（4コマ漫画も掲載中）

<http://nagahata.jp>



日々の主な活動



政治以外の話題



12月定例議会における質問②

・忍ヶ丘駅周辺の舗装整備について

【長畑質問】 JR忍ヶ丘駅周辺を整備した年月日は。

【都市整備部長答弁】 整備工事完了の正確な年月日は把握していないが、一般交通の用に供した供用開始日は、忍ヶ丘駅前西広場が平成4年10月15日、忍ヶ丘駅前東広場が平成8年9月5日。

【長畑質問】 以前の代表質問において西側ロータリーの植栽のあり方について尋ねたところ「直ちに撤去する予定はないが、地域活性化を検討していく中で議論する」との答弁を市長から頂いている。以降、何か議論されたのか。

【総合政策部長答弁】 それ以降、庁内で意見交換等を行ったものの、進展はない。

【長畑質問】 進展はないとのこと、その点には触れなくても良いと判断し、質問を進める。

忍ヶ丘駅周辺の舗装の劣化について、どう思われているのか、また今後どうする予定か。

【都市整備部長答弁】 舗装の劣化については、現状かなり傷んでいると認識している。今後、計画立てて補修を検討する。

【長畑質問】 実際、多くの箇所ですりガラスが剥がれているし、亀裂があちこちに入っている。安全面を重視し仕上がりを求めなければ、剥がれたり割れたりしている箇所はアスファルトやモルタル等で埋めれば良いでしょうし、亀裂については見ない様にすればやり過ごすことはできる。

しかし、私が懸念しているのは段差。公共の場で1センチでも段差があるとまず危険性がある中、特に駅前となれば人に気を取られて足元を見ずに歩くことが多く、危険度が高くなる可能性がある。

下画像を見ればわかるように様に、4センチの段差が付いている箇所もあり、危険を通り越している。仮にまずいて怪我でもされたら、放置していた市に責任があると思うが。



【都市整備部長答弁】 画像箇所については、定期的なパトロールにて、植栽樹木の根上がりによりタイルが隆起し危険な箇所であると認識している。まずは関係機関と協議を行い、対応について検討を行う。

また、段差により怪我をされた場合については、その状況にも左右されるが、管理責任を問われる場合もあるものと認識している。

【長畑質問】 私もこれまで、タイルの剥がれなどを見つければ修理をお願いしてきたが、もう悪い箇所が多すぎる。一度、一斉点検をすることは可能か。

【都市整備部長答弁】 常日頃パトロール等はやっているが、再度職員に周知し、点検をさせて頂きたい。

【長畑要望】 大東市がこれから四条畷駅の再開発を本格的に行う。何年後、四条畷駅が完成した時に、今のように忍ヶ丘駅がほったらかされたままだと、両駅のあまりの違いに市民はどう感じるか。

今回、一般質問をするまでもなく、都市整備部それぞれの課の職員は十分にわかっていることで、どうかしなければと何年も前から思っていたと思う。それでも思っているだけでは何ら変わらない。一枚一枚タイル舗装を修理しているだけでは無理なところまで来ている。市民が転倒などして怪我をするまで改善されないではダメだと思う。

来年度に予算をつけ全て改善する、そこまで出来れば良いが、財政と良く検討頂き、本市にとって無理のない範囲で何年かに分けて改修工事をする事、また、改修工事が終わるまで、数ヶ月に一度ぐらいは一斉点検をすること、この2点を要望する。

今号の漫画より、タイトルに(港区編)の文字を加えました。

ひろのり物語(港区編 ②)

絵:長畑ひろのり

